



**IMPREZA
GC8
GDB A,B**

**エキゾーストマニホールド
取り付け解説書**



TOMEI POWERED INC.

取り付けに必要な工具類



取付には左記の工具類の他、取り付け方法や現車状態により他の工具が必要になります。

潤滑剤	メガネレンチロング 14 - 17
TOMEIボルトスームペースト	スピナーハンドル
マイナスドライバー	ユニバーサルジョイント
モンキーレンチ	六角ソケット 8 (ホ-ルジョイント)
ウォーターポンププライヤー	ソケット各種 8・10・12・14
ニッパー	トルクレンチ
板ラチェット 12 - 14	ラチェット
コンビレンチ 12	取扱説明書
コンビレンチ 14	

製品の確認

下記の内容、数量が揃っているかを確認して下さい。



エキゾーストマニホールド本体	スタッドボルト 4本
サポートパイプ	ナット 3個
取扱説明書	M10×1.5ボルト 3本
サーモバンテージ 50mm×15m	
留め金 10set	
ガスケット (ヘッド- EXマニ間)	
ガスケット (EXマニ - サポートP間)	
ガスケット (サポートP - タービン間)	
ブラインドボルト	
M12×1.25ボルト(短)	
銅ワッシャー 大小各1枚	
ワッシャー 3枚	

作業前の注意

・本品は自動車競技専用部品です。サーキットや公道から閉鎖されたコース内に限って使用して下さい。

・本品の取付は特別の訓練を受けた整備士が、設備の整った作業場で実施して下さい。

・指定する車種以外への取付はおやめください。本品および、エンジンを破損する恐れがあります。

・取り付けの際は適切な工具、保護具を使用しないと、けがにつながり危険です。

周辺部品の取り外し

1. 作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外します。



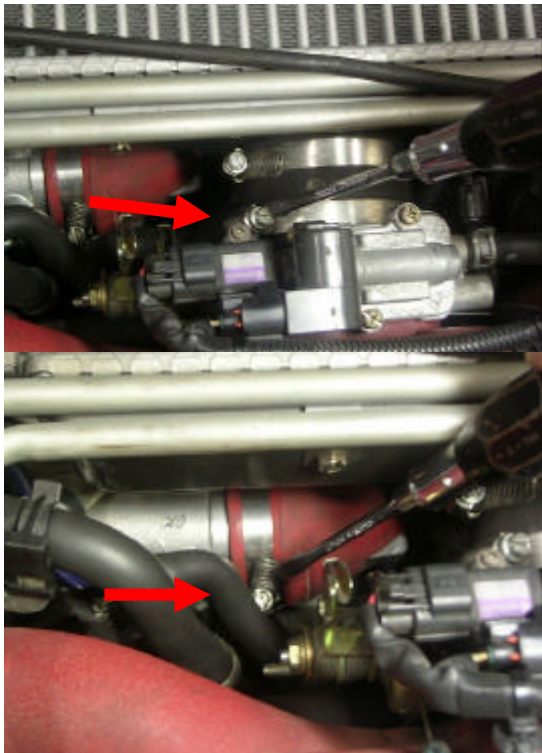
2. 先にターバーを外し、矢印のブローオフのボルト2本とホースを外しておきます。



周辺部品の取り外し



3. インタークーラーを固定している左右のボルトと、ステーのボルトを外し、ステーも外します。



4. インタークーラーの IN、OUTのホースを外し、インタークーラーを外します。

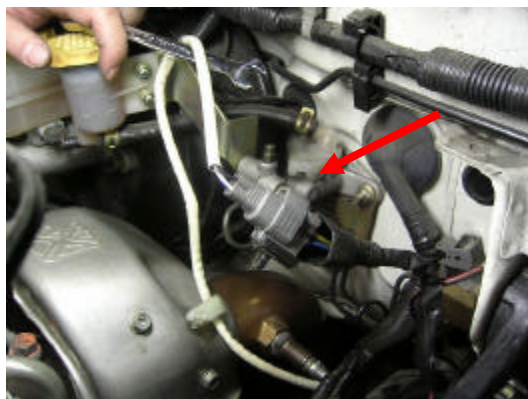
周辺部品の取り外し



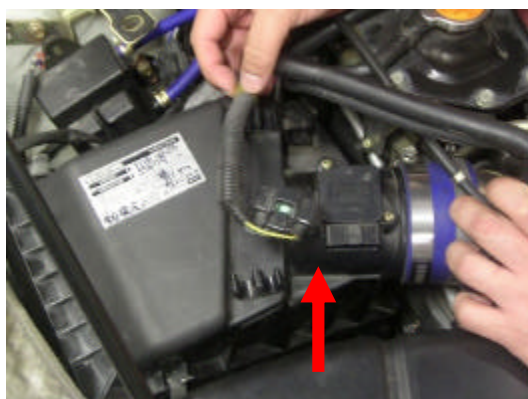
5. インタークーラーのステーを外します。



6. タービン遮熱板を外します。
後で使用するので、組み合わせを良く確認しておいて下さい。

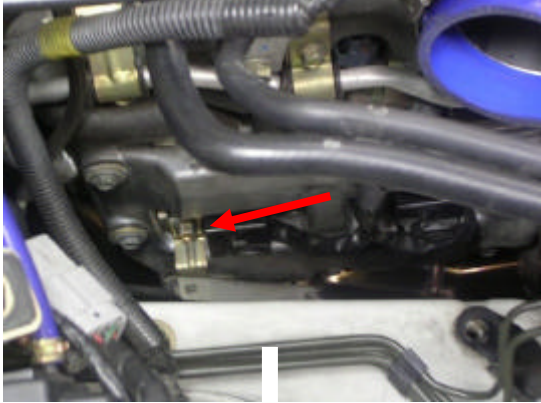


7. フロントパイプ側のO2センサーのカプラーを外します。



8. エアフロセンサーのカプラーを外し、
クリーナーボックスを外します。

周辺部品の取り外し



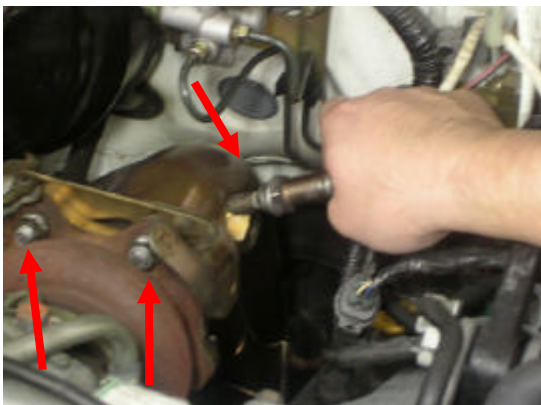
9. ダイレクトイグニッションと共締めになっている、O2センサーハーネスのステーボルトを外します。



10. エキマニ側O2センサーのカプラーを外します。



11. リフトアップしアンダーカバーを外します。
写真のタイプのリフトを使用してのリフトアップの際、アンダーカバー、サブフレームの後ろがリフトにかからないように注意してください。
又、フロントに荷重が寄ってしまうので、トランクにウェイトを載せるなどして、バランスに注意してください。



12. フロントパイプ側のO2センサーと、遮熱板のステーを外し、フロントパイプを外します。

周辺部品の取り付け外し



13. サブフレームを外します。



14. エキマ二側のO2センサーを外します。

純正エキマニの取り外し



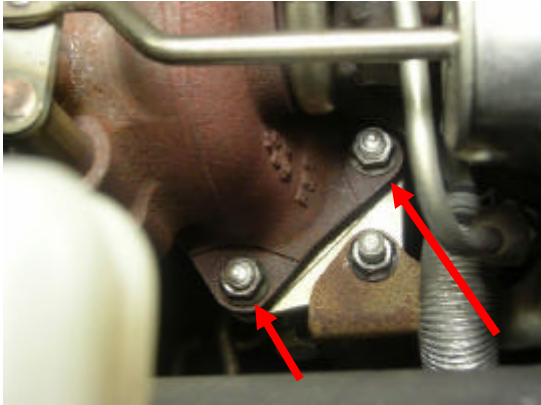
15. サポートパイプ、エキマニ連結部の遮熱板をずらし、連結部のナットを外します。
(潤滑油を塗布してから外して下さい。)



16. エキマニのフランジ側の遮熱板を外し、ヘッド側のナットを外し、純正エキマニを外します。



純正サポートパイプの取り外し



17. タービン側、サポートパイプのナットを3箇所外します。
(潤滑油を塗布してから外してください。)



18. エンジンマウントのナット2箇所を外します。



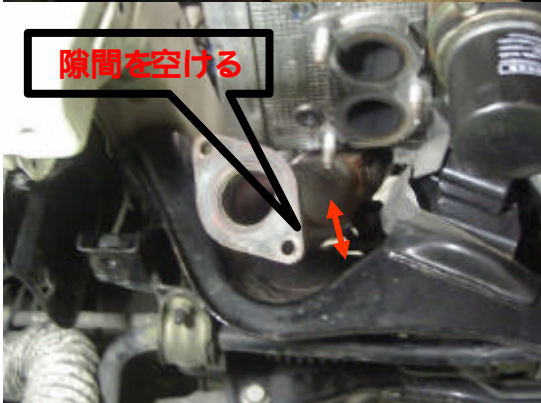
19. ヘッドに適当な木っ端を当て、ゆっくりリフトを降ろし、5cm ~ 10cmエンジンを持ち上げ、サポートパイプを抜き取ります。

木っ端が折れる恐れがありますので、作業は十分注意して行ってください。

この際、クリーナの配管などに無理がかからないよう注意して下さい。

フロアジャッキに木っ端を載せ、同様にエンジンをリフトしても良いです。

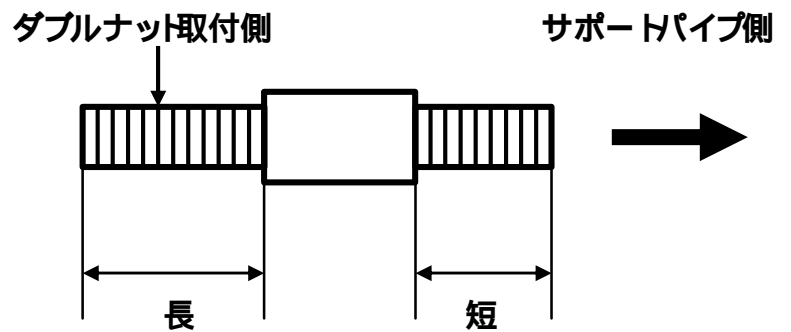
その際、ジャッキの転倒には十分注意してください。



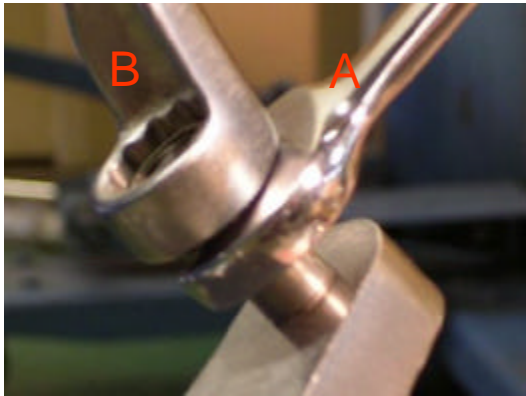
製品の取り付け



20. ネジ部にTOMEボルトスムースペースト等を塗布してから、サポートパイプのタービン側フランジに、スタッドボルトを取り付けます。
この際、ネジ部の長さに注意してください。



21. Aを基準にBを締め付けます。



22. トルクレンチを使用し、トルク2.5kgf-mから3.0kgf-mで締め付けます。
ダブルナットをAを基準にBを緩めます。
ナットを取り外す際、絶対にボルトを動かさない様に注意してください。
スタッドボルトが緩んだ場合は、上記作業をやり直します。

製品の取り付け



23. サーマンテージを巻く前に、水に浸しておきます。
こうすることで巻き易くなる上、乾くとバンテージが締まります。



24. エキマニ、サポートパイプをバイスにくわえ、
サーマンテージを巻きます。

その際、フランジに傷がつかないように、ウェス等で保護してください。

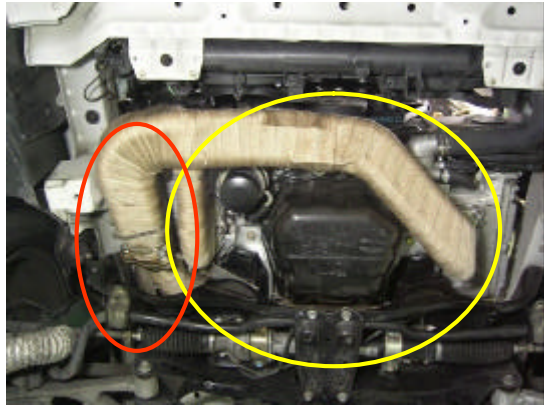


25. しっかり締め込みながら巻き付けて行きます。



24. ある程度巻いたところで、エッジを留め金で固定します。
(手を切らないよう注意してください。)

製品の取り付け



25. 全てまき終わったら、端を留め金で固定します。

(エキマニは、一度で巻こうとせず二分割で巻くと巻き易いです。今回は左図のような分け方をしました。)



26. サポートパイプへ付属ボルトを組み付けます。
このときも、TOME ボルトスムースペースト等を塗布しておきます。



27. スタットボルトにTOME ボルトスムースペースト等を塗布しておきます。

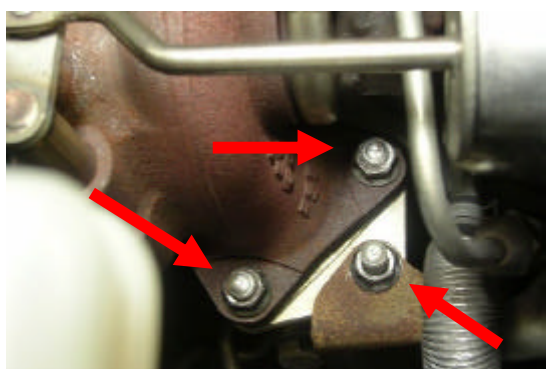


28. ガasketを当て、サポートパイプを先に作った隙間から入れ込みます。

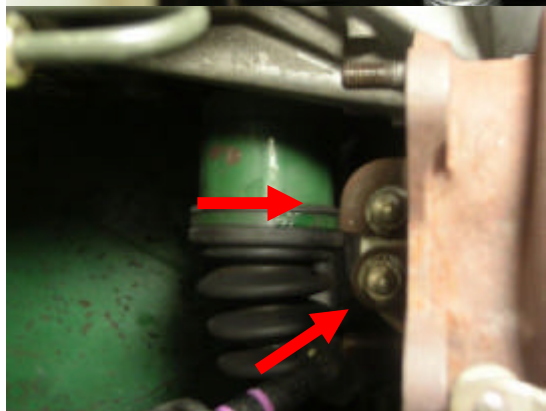
製品の取り付け



29. サポートパイプのスタッドボルトを、タービンのボルト穴5箇所に差し込みます。



30. 29で差し込んだボルトにナットを仮締めしておきます。



31. ゆっくりリフトを上げ、木っ端をはずします。
この際、エンジンマウントが浮いていないことを確認してください。

(ジャッキを使用した場合は、ジャッキを下げます。)



製品の取り付け



32. ヘッド側スタッドボルトにTOME ボルトスムースペースト等を塗布しておきます。



33. エキマニ本体を取り付け、ヘッド側のボルトを仮締めしておきます。
(ガスケットを入れるのを、忘れないで下さい。)



34. エキマニとサポートパイプをつなぐボルトに、TOME ボルトスムースペースト等を予め塗布します。



35. エキマニとサポートパイプの間に付属のガスケットを挟み、仮締めします。

製品の取り付け



36. エキマニ、サポートパイプの位置が出たら、本締めします。

トルクレンチを使用し、ヘッド側 3.1 kgf・m、エキマニ - サポートパイプ間 3.6 kgf・m で締めます。



37. サポートパイプ、タービン側のナットを本締めします。

トルクレンチを使用し、3.6 kgf・m で締めます。

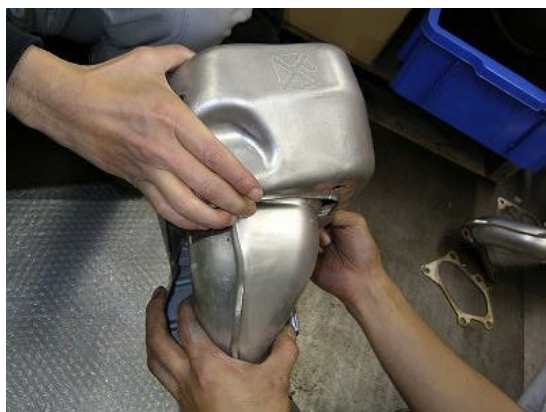
現車復帰

38. エンジンマウントが、メンバーにきっちり収まった事を確認し本締めします。

Hレクレンチを使用し、8.6kgf・mで締めます。



39. フロントパイプを取り付ける前に、遮熱板の位置関係を、再度、確認しておきます。



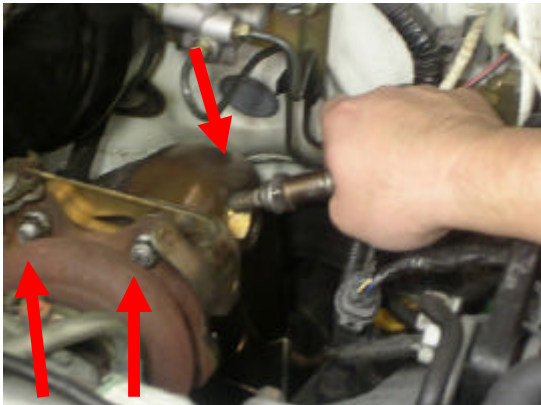
現車復帰



40. O2センサーネジ部にTOME ボルトスムーズペースト等を塗布し、エキマニにO2センサーを取り付けます。



41. タービン側スタットボルトにTOME ボルトスムーズペースト等を塗布し、フロントパイプを組み付けます。



42. タービンにフロントパイプを組み付け、O2センサーを取り付けます。
この際も、TOME ボルトスムーズペースト等を塗布しておきます。

(遮熱板のステーがフロントパイプと共締めになります。)



43. フロントパイプとマフラーを接続します。

現車復帰



44. 遮熱板を取り付け、O2センサーのカプラーを接続します。



45. エキマニ側O2センサーハーネスのステーをダイレクトイグニッションのボルトと共締めします。



46. エキマニ側、O2センサーカプラーを接続します。

現車復帰



47. エアクリーナーボックスを取り付け、エアフロカプラーを接続します。

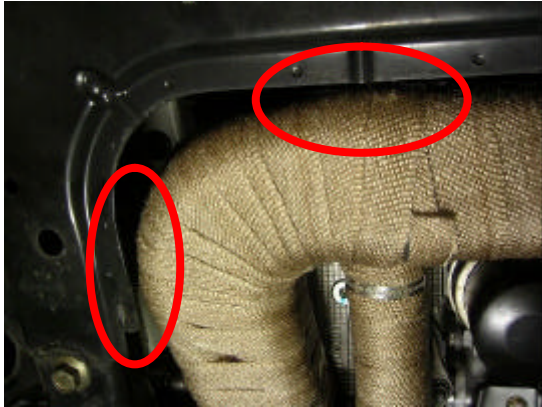


48. インタークーラー、タワーを元に戻します。



49. エンジンを始動し、排気漏れが無いことを確認し、サブフレームを仮組みします。

現車復帰



50. 取り付け車両によっては、左写真の囲み 2箇所のクリアランスが 10mm未満の場合があります。
その場合は、クリアランスが 10mm以上になるように、サブフレームを切削してください。
クリアランス 10mm以上確保後、サブフレームを本締めし、アンダーカーバーを取り付け、作業終了です。



この製品に関わる取り付け、操作上のご相談は下記へお願い致します。
営業時間 :月～金 (祝祭日、年末年始を除く)9:00～ 18:00

EJ20 GDB A,B エキゾーストマニホールド 取り付け解説書 05年01月

株式会社 東名パワード
〒194-0004 東京都町田市鶴間1737-3
TEL 042-795-8411 FAX 042-799-7851
URL <http://www.tomei-p.co.jp>

TOMEI POWERED INC.